

# エゾアワビ

*Haliotis discus hannai*



## 生態

- ①寿命：約20年。
- ②成熟：2～3歳以上（殻長5cm以上）。
- ③産卵期：8～11月頃（水温17～24℃）。
- ④分布：クロアワビの北方種であり、茨城県以北の太平洋、津軽海峡、噴火湾、北海道の日本海沿岸など、冬季に水温が12℃以下に低下する海域に生息する。
- ⑤生態：受精後4～8日間浮遊生活し、潮間帯から水深3m前後の岩盤や転石に着底したのち、成長にともなって潮下帯から水深20mにかけての岩礁や転石に移行する。コンブ、ワカメ、ホンダワラ類、アナアオサなどの海藻を好み、それら海藻の現存量が高い海域に多く生息する。夜行性。水温7℃以下及び27℃以上で摂餌量が減少し、水温15～20℃の範囲ではよく成長する。水温及び餌料となる海藻の種類と量によって成長が大きく異なる。

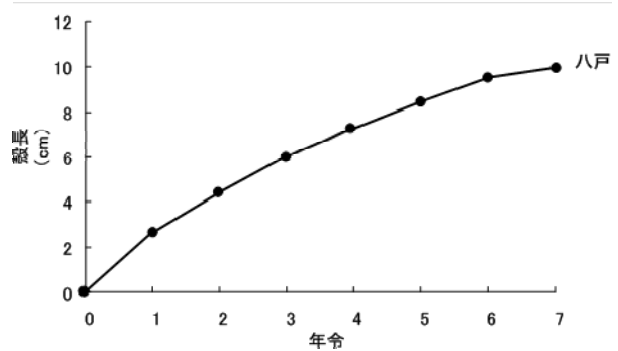


図 青森県におけるエゾアワビの成長の比較

## 主な漁業

本県全沿岸に生息するが、津軽海峡から太平洋沿岸で多く漁獲される。鉤や鉾を使った底見、潜水によって冬季を中心に漁獲される。

## 漁獲と資源の動向

漁獲量は、昭和45年に218トンで最高を記録し、こののち昭和58年までは100トンを上回る漁獲があったが、異常低水温による斃死が報告された昭和59年に急減した。その後天然発生の不調が続いたことなどにより、平成元年から7年間27トン以下に留まったが、平成8年以降は30～60トン前後で推移しており、平成24年は57トンの漁獲であった。

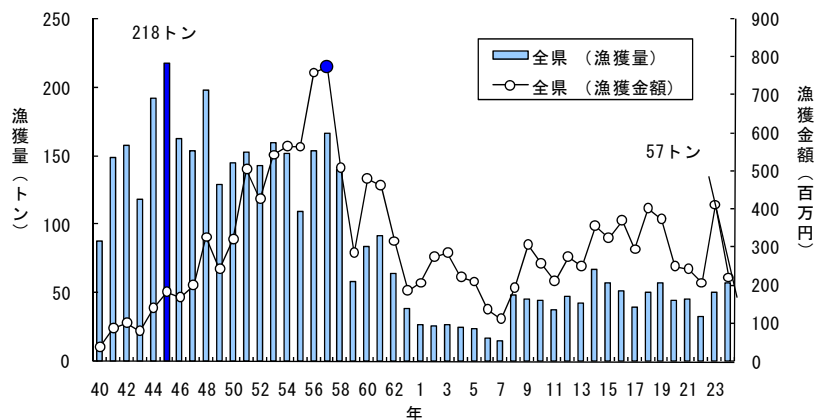


図 青森県におけるアワビの漁獲量及び漁獲金額の推移



## 資源を上手に利用するために

☆青森県海面漁業調整規則により、殻長9cm以下及び8月1日～10月31日の採捕を禁止しており、これを遵守する必要がある。

☆身入りや成長が劣る漁場ではマコンブ養殖などの給餌や磯焼け対策が効果的。